

## 令和6年度第2回静岡県立中央図書館協議会議事録（要旨）

1 日 時 令和7年3月6日（木）午後1時30分から午後4時まで

2 会 場 静岡県立中央図書館 3階会議室

3 出席者

(委員)	(図書館)
委員 片瀬 愛理	館長 高橋 健二
委員 庄田 達哉	副館長兼総務課長 山内小百合
委員 鈴木 千明	総務班長 田中 理一
委員 鈴木 玲子	企画振興課長 田辺 章
委員 高山ひさ乃	企画班長 青木 修
委員 土居 由知	資料課長 木村 知美
委員 轟木堅一郎	調査課長 鈴木 由美
委員 服部祐三子	教育主査 尾上 容子
委員 吉見光太郎	新図書館整備課 波多野 朗 施設整備班長

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 館長挨拶
- (3) 委員・職員紹介
- (4) 会長・副会長選出
- (5) 会長挨拶
- (5) 議事
  - ア 県立中央図書館の状況について
  - イ 令和6年度主要施策実績報告について
  - ウ 令和6年度各班等重点取組の評価について（※1）
  - エ 令和7年度の基本方針と主要施策について（※2）

## 発言要旨

### (※1) 令和6年度各班重点取組の評価について

	<u>実績的な防災訓練の実施及び危機管理マニュアルの改訂</u>
( 委 員 )	危機管理マニュアルの修正はどのような形で行われたのか。
( 図 書 館 )	<p>今回、マニュアルを基本事項、体制整備と事前の備え、災害時の対応、傷病者発生時の対応、不審者対策、施設管理の6章構成に再編成した。</p> <p>そのうち、災害時の対応については、職員が手薄で、かつ日没後の夜間開館時の発災を想定した訓練を行った。</p> <p>5月の訓練で従前のマニュアルの課題の洗い出しと修正を、8月の訓練で修正後のマニュアルの再検証を行った。</p>
( 委 員 )	委員の評価が全員A評価であることから、外部評価はA評価とする。
	<u>電算システムの円滑かつ適切な更新</u>
( 委 員 )	滞りなくシステム更新が終了しており、委員の評価が全員A評価であることから、外部評価はA評価とする。
	<u>障害がある方に向けた図書館大会の広報の充実</u>
( 委 員 )	<p>図書館大会の広報には、当センターも協力させていただいた。お一人とはいえ視覚障害者の参加があったことは良かったと思っている。当事者のコメントにあったとおり、参加者に寄り添った対応をしていただいたことは、今後に繋がっていくと思う。</p> <p>イベント等の情報発信の手段としてXを使っているとのことだが、広い年齢層に発信していく上で、LINE等、他の手段の導入についてどのように考えているか。</p>

(図書館)	<p>SNSによる情報発信の手段として、インスタ等を検討したこともあるが、手を広げることで収拾がつかなくなってしまうことも考えられるため、慎重に検討していきたいと思っている。</p>
(委員)	<p>広報手段として、より広く使われているものについては、今後御検討いただきたい。</p>
(委員)	<p>大会のアナウンスから公式Xへの誘導はどのようにになっているか。</p>
(図書館)	<p>イベントチラシ等にQRコードが掲載してある。Xにもリンクが貼ってある。様々な情報を連携させることで、効果的な広報となるよう努めていく。</p>
(委員)	<p>当事者から図書館大会の対応について高い評価を受けていることから、外部評価はA評価とする。</p>
<p><u>新館児童書巡回貸出事業の試行による市町立図書館等の児童書選書支援の実施</u></p>	<p>(委員) 令和7年度の同事業の実施館が、当初の目標の4館から2館になった理由は、受入側の事情によるものか。</p> <p>(図書館) 今回の試行を通じて、受入側にスペースや人員が少ないといった課題があることがわかった。現場の貴重な意見を聞き取る機会となり、試行をして良かったと思っている。市町立図書館のニーズに丁寧に対応しながら事業を進めていきたい。</p> <p>(委員) 市町立図書館の意見も聞きながら、徐々に目標の4館実施に向けて頑張っていただきたい。</p>

( 委 員 )	受入館である袋井市立図書館の意見は収集しているが、実際に本を手に取った担当者からのフィードバックがあったか。
( 図 書 館 )	「選書の参考になった」等の声を聞くことができた。
( 委 員 )	実際にどのような形で本が搬入されているか。
( 図 書 館 )	市町立図書館の負担軽減を図るため、コンテナで搬入し、そのままの状態で展示できるようにした。
( 委 員 )	評価については、令和 7 年度以降にもつながる事業であることから A 評価とする。
<b><u>新館整備に向けた雑誌所蔵資料データ公開体制の構築</u></b>	
( 委 員 )	令和 9 年度までにバーコード貼付作業を確実に終えることを目標としているが、今年度の実績を踏まえ、見通しはどうか。
( 図 書 館 )	対象資料数の 30~40 万冊の全てをワークステーションで行うのではなく、令和 7 年度から外部委託契約を締結することになる。両者が同時進行で作業し、令和 9 年度には全て終了させる。
( 委 員 )	委員の評価が全員 A 評価であることから、外部評価は A 評価とする。
<b><u>県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス・サービスとレファレンス研修の充実</u></b>	
( 委 員 )	レファレンス件数の減少理由については説明があった。委員の評価が全員 A 評価であることから、外部評価は A 評価とする。学校図書館支援については引き続きお願いしたい。

	<u>県民に向けた健康医療情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実</u>
( 委 員 )	中央図書館の健康医療情報コーナー、がん情報コーナーともに資料が充実している。県民が最新の医療情報を得られることはありがたい。継続して特集コーナーの充実に努めていただきたい。
( 委 員 )	委員の評価が全員A評価であることから、外部評価はA評価とする。
	<u>地域資料の書誌作成に関する研修会の初開催</u>
( 委 員 )	「公立図書館等職員研修」「賀茂地区図書館研修会」が回答時未実施のためB評価とした方が1名いたが、いずれの研修会も目標達成されたということで、外部評価はA評価とする。
	<u>地域資料の二次資料の改訂</u>
( 委 員 )	外部評価で5名の委員がB評価としている。調査課から補足説明等あるか。
( 図 書 館 )	いただいた御意見は今後の取組に生かしていきたい。
( 委 員 )	以前、学校の授業で地域のことを調べるための資料を紹介してほしいという依頼があり、図書館に何度も足を運んで探したことがある。最終的には中身を吟味する必要はあるが、第一段階としてこうしたリストがあるとありがたい。小学生向け、中学生向けに分かれていると更に役立つと思う。
( 委 員 )	小学生の頃、図書館で調べ学習で資料を探すことに時間がかかってしまった。学ぶ側にとってこうした分野別に分かれたリストは役に立つと思う。
( 委 員 )	今後の期待を込めてB評価とする。

	<u>県史編さん収集資料の整理及び公開</u>
( 委 員 )	委員の評価が全員A評価であることから、外部評価はA評価とする。

(※2) 令和7年度の基本方針と主要施策について

( 委 員 )	「バリアフリーやユニバーサルデザインの考えに基づき、利用が困難な方に対するサービスの改善・向上に取り組む」とあるが、施設面で改善の余地はあるか。
( 図 書 館 )	施設面の改善は厳しい状況である。電子書籍等、非来館者サービスの充実を図っていく。
( 委 員 )	来館者に対するハード面以外で何かできることはあるか。
( 図 書 館 )	今年度、職員を2か月間県外図書館で研修し、障害者サービスに関する情報を館内研修で共有した。
( 委 員 )	サビエ図書館の利用状況について伺う。
( 図 書 館 )	正確な数字は持ち合っていないが利用は一桁から二桁ではないかと思われる。
( 図 書 館 )	今年度の取組はないが、障害者サービスの一環としてリーディングトラッカーを過去に取り入れたことがある。